

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	全国がん登録事業及びがん登録オンライン事業にかかる運用保守支援業務委託契約	
契約締結日	平成30年 3月23日	
契約の相手方の商号又は名称等	ネットワンシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	平成30年 2月 7日公告 平成30年 3月 7日入札書等締切 平成30年 3月 8日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	無
②業務等準備期間の十分な確保	○	前回よりも約1ヶ月早く公告を掲載し、準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告掲載を1ヶ月早めるとともに、公示期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	HP・院内にて掲示を行い、参加できる可能性が見込まれる業者への声かけを実施。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	参加の期待できそうな業者に、入札参加を促したが、受領まで至らず不参加となった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き他業者に参加呼びかけを行うと同時に、現場にも参加依頼ができる業者を探して頂くよう依頼し参加業者を探していく。		
契約監視委員会のコメント		
改善項目の⑥「参加できそうな業者に入札参加を促したが、受領まで至らず不参加となった」とあるが、不参加となった理由はなにか確認するとともに、それを踏まえて今後講ずべき措置を検討して記載すること。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今年度は公告期間を2ヶ月以上確保、履行開始日より1ヶ月前に入札を行い、広く参加業者を募っていく。そして、引き続き参加可能業者を探していく。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	手術・中材・内視鏡室及び消毒等委託業務契約	
契約締結日	平成30年 2月15日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本ステリ株式会社	
入札経緯及び結果	平成29年12月 4日公告 平成30年 1月25日入札書等締切 平成30年 1月26日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	具体的な業務内容の記載となるよう努めた
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで2ヶ月確保した。
③公告期間の見直し	○	公示期間を35日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	HP・院内にて掲示を行い、参加できる可能性が見込まれる業者への声かけを実施。
⑤電子入札システムの導入	×	
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様上、請負が困難な部分があるということだった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
次回入札にあたり各部門と仕様について協議を行い、複数業者が参加できるように検討していく。		
契約監視委員会のコメント		
センターにおける改善の取り組み内容の結果を注視する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
「事後点検の結果講ずることとした措置」における検討・対応方針を踏まえ、次回入札時には、一者応札の改善を実施する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。